

<事業名> 文化活動による地域コミュニティ創生のための廃ビル活用事業

| | |
|------|-----------|
| 団体名 | ひろばあそび研究所 |
| 所在地 | 豊岡市日高町 |
| 代表者名 | 河村 竜也 |

| | | |
|-------|---|-----------------------------|
| 事業内容 | <p>廃ビル（旧サトウ）の中に拠点をおく「デモクラティックスクール TOIRO」を会場に、江原駅・サンロード商店街周辺を活用した、音楽とタウンミーティングのイベントを実施。</p> <p>音楽：「音でワクワク」 豊岡市在住のミュージシャンによるクリスマスメドレー。学生から社会人までが参加するポッコツ合唱団も参加。</p> <p>タウンミーティング：「話してフムフム」 町のこと、これからのことについて、自由なアイデアや意見を交換できる会を実施。</p> <p>イベントでは他にも地域の人が営む飲食の出店や、豊岡市内で活動する地域おこし協力隊が集まったマーケットチームによるクリスマスに関する出店もあり、子供から大人まで、誰もが参加して楽しめるイベントを目指しました。</p> | |
| 地域 | 豊岡市（主には日高町） | |
| 事業の効果 | <p>1 団体（組織）内の効果 本団体は豊岡市の地域おこし協力隊で、「豊岡演劇祭事務局」に所属するメンバーが中心となって設立しました。今回、地域とコミュニケーションをとりながら企画することで、協力隊でも他地域で活動する隊員が企画を持ち込んで協働する流れや、さらには大学生からも次回の企画に関わりたいといった、年代・所属を超えた交流の機会をうむことができました。</p> <p>2 地域への効果 当初予定していた廃ビル工事が急遽見送りになったことにより、春に想定していた計画での活用事業ができなくなりました。そのことで、ハード面での地域の新たな芸術文化拠点の創出には至れませんでした。本イベントを通じて、文化体験による価値の共有、さらには参加者であった地域の人が自発的に交流を生むことができる場をつくることができ、地域内のささいな課題や、感じている疑問を共有することができました。</p> | |
| 事業経過 | R3年11月29日 | 企画会議（出演オファー・出店状況の確認、広報について） |
| | R3年12月4日 | チラシ納品・広報開始 |
| | R3年12月6日 | 企画会議（当日運営の確認、広報について） |
| | R3年12月10日 | 日吉区役員会にてイベントのご案内 |
| | R3年12月13日 | 事前準備（駐車場整備） |
| | R3年12月18日 | イベント当日 |
| | R3年12月23日 | 振り返り |

| | |
|--------|---|
| 協働の相手 | <ul style="list-style-type: none"> 株式会社ニコス |
| 今後の課題等 | <p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題</p> <p>現在の所属メンバーは全員が豊岡演劇祭事務局と兼任しているため、演劇祭の開催時期前後には企画の進行が難しくなることが予想されます。さらには、団体が目指す「年齢・性別・障がい・国籍・問わず、多様性に富んだ構成員」を集めるためにも、組織の窓口や関係者を広げていくことが必要となります。そのためにも、今回のイベントを機に参加の声をかけてくれた大学生や、地域で活動する人たちとの関係性を築き、企画段階から共同し、イベントの実施を目指します。</p> <p>2 地域の課題</p> <p>廃ビルや駅前のイベント広場など、“場所はあるけど人が集まれるきっかけがない”という、コミュニティ創出に関する地域課題があると感じます。さらに、この課題に拍車をかけるように、コロナウイルスの影響による既存の地域の祝祭やイベントの開催自粛は今年度も続いていました。今後も小さなきっかけではありますが、地域の商店街や企業の担い手、学生たちと連携をとり、文化的視点での企画・イベントを展開することで、普段なかなか出会えない人たちと“出会うことのできる場”を創出することを目指します。</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 江原駅前イベント広場を活用したナイトマーケットなどの模擬店イベント（4～6月予定） 各種ワークショップ（不定期開催） |



R3年12月6日 企画会議



R3年12月18日 イベント当日（歌）



R3年12月18日 イベント当日（トーク）



R3年12月18日 イベント当日（出店）